

時間割コード	KB4021	ナンバリング	KB-INL-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木2	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	A (地域)	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	情報リテラシー				
担当教員 (ローマ字表記)	田附 明夫				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

情報リテラシー

## 授業の概要/Course Overview

現代はビッグデータ、AIなど情報技術が急速に進歩し、スマートフォン、ネットショップなど生活のいたるところに情報技術が浸透しており、大学での学修もそれ抜きには不可能です。しかし、便利な反面、以前では考えられなかったような危険も潜んでいます。そこで、この授業では、大学で学ぶのに必要な情報リテラシー、社会との関わりについての法的リテラシーを学び、データサイエンスの入門としてExcelを使ったデータリテラシーを学びます。

## キーワード/Keyword(s)

メール、ワープロ、プレゼンテーション、表計算、インターネットと社会

## 到達目標/Learning Objectives

大学の情報システムに接続できる。Wordで文書を作成できる。PowerPointでプレゼンテーションできる。Excelでデータ解析をできる。情報セキュリティを理解し実行できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：ガイダンスと情報リテラシー

【授業内容】ガイダンス

PCの立ち上げ、PCの基本操作

確認事項：(1)WiFiに接続できるか。(2)パスワード。(2)Office365またはMS-OFFICEのインストール

シラバスの確認：「情報リテラシー」、「法的リテラシー」、「データリテラシー」の3つの内容があることを確認する。

PCの各種設定について：(1)拡張子を表示させる。(2)電子メールの設定

【授業内容】情報リテラシー

外部記憶装置

電子メールについて

【授業外学修】課題

第2回：情報リテラシー

【授業内容】Wordによる文書作成 (1)、文書作成の基礎、文章入力

【授業外学修】課題

第3回：情報リテラシー

【授業内容】Wordによる文書作成 (2)、文書の体裁操作 (行間、インデント、タブ、箇条書き、図、表、数式を含む文書)

【授業外学修】課題

第4回：法的リテラシー

【授業内容】情報関連の法律、茨城大学の情報関連の規則

【授業外学修】課題を実施する

第5回：法的リテラシー

【授業内容】著作権を考える。

【授業外学修】課題を実施する

第6回：情報リテラシー

【授業内容】PowerPoint によるスライド作成方法

【授業外学修】課題を実施する

第7回：情報リテラシー

【授業内容】プレゼンテーションの実技

提供した資料に基づいてプレゼンテーション資料を作成する。

【授業外学修】課題を実施する

第8回：法的リテラシー

【授業内容】インターネット上のサービスとその脅威、加害者や被害者にならないために

【授業外学修】課題を実施する

第9回：情報リテラシー

【授業内容】情報受信と情報発信、コンピュータの基本

【授業外学修】課題を実施する

第10回：情報リテラシー

【授業内容】ネットワークの基本、ネットワークの舞台裏

【授業外学修】課題を実施する

第11回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (1)、表計算の基本操作

【授業外学修】課題を実施する

第12回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (2)、データを見える化する

【授業外学修】課題を実施する

第13回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (3)、関数の利用、並び替え、グラフ作成

【授業外学修】課題を実施する

第14回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (4) BIG DATA 1

FAO STAT データの一部を利用して計算を行う。

【授業外学修】課題を実施する

第15回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (5) BIG DATA 2

大腸菌の遺伝子情報を利用して計算を行う。

【授業外学修】課題を実施する

全15回が必須の項目を含んでいるので、全回出席が望ましい。

## 情報端末の活用

毎回の演習はPCで行うので、毎回必ず持参すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけ、独力でデータ解析ができる。  
A：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけ、指導のもとにデータ解析ができる。  
B：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけ、データの解析結果を読み取れる。  
C：情報リテラシー、法的リテラシーの理解が十分でなく、データ処理能力も不十分である。  
D：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけていない。

## 成績の評価方法/Grading

レポート：100%

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	アカデミック情報リテラシー
著者名	宇野美由紀 [ほか] 共著
出版社	学術図書出版社
出版年	2015
ISBN	478060429X
教材費	

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

## アクティブ・ラーニング型科目

○

**PBL科目**

--

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語
-----

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB4022	ナンバリング	KB-INL-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木2	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	A (食生命)	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	情報リテラシー				
担当教員 (ローマ字表記)	長澤 淳				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

情報リテラシー

## 授業の概要/Course Overview

現代はビッグデータ、AIなど情報技術が急速に進歩し、スマートフォン、ネットショップなど生活のいたるところに情報技術が浸透しており、大学の学修もそれを抜きには不可能です。しかし、便利な反面、以前では考えられなかったような危険も潜んでいます。そこで、この授業では、大学で学ぶのに必要な情報リテラシー、社会との関わりについての法的リテラシーを学び、データサイエンスの入門としてExcelを使ったデータリテラシーを学びます。

## キーワード/Keyword(s)

電子メール、ワードプロセッサ、プレゼンテーション、表計算、インターネットと社会

## 到達目標/Learning Objectives

大学の情報システムに接続し、情報をやり取りできる。ワードプロセッサで文章を作成できる。プレゼンテーションソフトを使用して発表資料を作成できる。表計算ソフトを使ってデータ解析ができる。情報セキュリティを理解し実行できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：ガイダンスと情報リテラシー

【授業内容】ガイダンス

PCの立ち上げ、PCの基本操作

確認事項：(1)WiFiに接続できるか。(2)パスワード。(2)Office365またはMS-OFFICEのインストール

シラバスの確認：「情報リテラシー」、「法的リテラシー」、「データリテラシー」の3つの内容があることを確認する。

PCの各種設定について：(1)拡張子を表示させる。(2)電子メールの設定

【授業内容】情報リテラシー

外部記憶装置

電子メールについて

【授業外学修】課題

第2回：情報リテラシー

【授業内容】Wordによる文書作成(1)、文書作成の基礎、文章入力

【授業外学修】課題

第3回：情報リテラシー

【授業内容】Wordによる文書作成(2)、文書の体裁操作(行間、インデント、タブ、箇条書き、図、表、数式を含む文書)

【授業外学修】課題

第4回：法的リテラシー

【授業内容】情報関連の法律、茨城大学の情報関連の規則

【授業外学修】課題を実施する

#### 第5回：法的リテラシー

【授業内容】著作権を考える。

【授業外学修】課題を実施する

#### 第6回：情報リテラシー

【授業内容】PowerPoint によるスライド作成方法

【授業外学修】課題を実施する

#### 第7回：情報リテラシー

【授業内容】プレゼンテーションの実技

提供した資料に基づいてプレゼンテーション資料を作成する。

【授業外学修】課題を実施する

#### 第8回：情報リテラシー

【授業内容】インターネット上のサービスとその脅威、加害者や被害者にならないために

【授業外学修】課題を実施する

#### 第9回：情報リテラシー

【授業内容】情報受信と情報発信、コンピュータの基本

【授業外学修】課題を実施する

#### 第10回：情報リテラシー

【授業内容】ネットワークの基本、ネットワークの舞台裏

【授業外学修】課題を実施する

#### 第11回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (1)、表計算の基本操作

【授業外学修】課題を実施する

#### 第12回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (2)、データを見える化する

【授業外学修】課題を実施する

#### 第13回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (3)、関数の利用、並び替え、グラフ作成

【授業外学修】課題を実施する

#### 第14回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (4) BIG DATA 1

FAO STAT データの一部を利用して計算を行う。

【授業外学修】課題を実施する

#### 第15回：データリテラシー

【授業内容】Excel による表計算 (5) BIG DATA 2

大腸菌の遺伝子情報を利用して計算を行う。

【授業外学修】課題を実施する

## 履修上の注意/Notes

全15回が必須の項目を含んでいるので、全回出席が望ましい。

## 情報端末の活用

毎回の演習はPCで行うので、毎回必ず持参すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけ、独力でデータ解析ができる。
- A：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけ、指導のもとにデータ解析ができる。
- B：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけ、データの解析結果を読み取ることができる。
- C：情報リテラシー、法的リテラシーの理解が十分でなく、データ処理能力も不十分である。
- D：情報リテラシー、法的リテラシーを身につけておらず、データ処理もできない。

## 成績の評価方法/Grading

レポート：100%

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	アカデミック情報リテラシー
著者名	宇野美由紀 [ほか] 共著
出版社	学術図書出版社
出版年	2015
ISBN	478060429X
教材費	1100

## 参考書/Reference Book(s)

### 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

### アクティブ・ラーニング型科目

○

### PBL科目

### 地域志向科目

### 使用言語

日本語

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--